

# 迎春

市長

柏木 征夫



新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様方には、清々しく新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素は、例年の花火大会をはじめ、多くの地域活性化事業や自主防災活動など、市政各般に格別のご理解・ご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、進行の止まらない少子高齢化や都市との格差の広がりで、地方は依然として厳しい状況にあります。本市では行財政改革の手綱を緩めることなく財源の確保を図りながら、18歳以下までの子ども医療費助成制度の対象年齢拡大、小中学校への空調整備、命を守るための津波避難タワー・避難施設の整備、ふるさと納税の推進など、総合計画に基づく施策と

もに「安心して子を産み育て、年を重ねることができる安全なまちづくり」を目指している他、市内外の多くの方々からご意見・ご提言をいただきながら取り組む「わがまち魅力発信事業」において、小都市ならではの御坊の楽しみ方や地域資源を発信する2017年「酉年」をスタートしてまいります。

本年も、東日本大震災被災地にある「ここ」にも津波は来る。(中略) まずは逃げる…高台へ。高台へ。伝えてほしい未来に生きる人達へ。」という碑文をお伝えし、「自助」「公助」「共助」の3つが支えあう災害に強いまちづくりとともに、ふるさとの豊かな自然と地域資源を大切に育みながら、次世代へ負担を強いることのない健全な行財政運営に努めてまいりますので、市民の皆様方の温かいご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新しい年が、光り輝く幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



市議会議長

西本 和明



新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様方には、希望に満ちた輝かしい平成二十九年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素は、市議会に対しまして、格別なるご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成二十七年に実施された国勢調査の結果が昨年公表されました。日本の総人口は調査開始以来初めての減少となり、いよいよ我が国も本格的な人口減少時代を迎えたわけであります。既に多くの地方自治体では人口減少が顕著になっていて、殊更にこの数字に驚くまでもありませんが、今後の行財政運営は、一層厳しい局面に入つたと言えます。

このように市政を取り巻く環境

がますます厳しさを増す中、多様化する行政ニーズに対応していくには、効果的・効率的な市政の推進を図りながらも、単に身を切る改革を押し進めるだけではなく、目線を変え、斬新な発想の転換を図りながら、あらゆる分野において、旧来に捉われない行政システムの構築を図っていくことも必要ではないかと考えます。

そして、それぞれのライフステージにあった行政サービスを、いかに持続性を持たして提供していくか。地域力を高め、地域に活力をもたらすため、これからの議会が果たしていかなければならない役割、その責任の重さを十分踏まえた上での議論を重ね、その過程、その到達点を明示して、市民の皆様方のご理解が得られるよう取り組んでまいりたいと考えます。

今後とも、まちづくりの主役である市民の皆様方の声を行政に反映すべく、議会一丸となって市政の様々な課題と向き合っておりますので一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、平和で希望に満ちた幸多き一年となりますよう祈念しまして、年頭のご挨拶といたします。